

## 第2回 カーボン・オフセット大賞 応募用紙①

### 応募者に関する情報

記入日： 2012年 11月 29日

応募者情報	
応募 団体名	(フリガナ) サンメッセ
	(団体名) サンメッセ株式会社
応募 担当者 連絡先	団体名： サンメッセ株式会社
	所在地： 〒503-8518 岐阜県大垣市久瀬川町7-5-1
	部署名： 本社工場 工務課
	役職名： カーボンオフセットアドバイザー
	氏名： 佐々木 弘道
	TEL： 0584-81-9111      FAX： 0584-81-9126
	E-Mail： <a href="mailto:h-sasaki@sunmesse.co.jp">h-sasaki@sunmesse.co.jp</a>
ホームページ	<a href="http://www.sunmesse.co.jp/">http://www.sunmesse.co.jp/</a>
<p>応募団体の主たる事業</p> <p>総合印刷業（カタログ、チラシ、パンフ、ビジネスフォーム、シールなどの印刷物の他、情報サービスとして、HPの展開や、WEBカタログ、セキュリティー関連の印刷物を印刷しております。）</p> <p>支店： 東京、大阪、名古屋、愛岐、岐阜                      営業所： 津、京都、滋賀、岡崎                      資本金： 1,236,114,800円                      売上高： 141億円(平成24年3月期)                      社員数： 734名</p>	
 <p>本社工場全景</p>	

## 第2回 カーボン・オフセット大賞 応募用紙②

### 応募するカーボン・オフセットの取組についての基礎情報 (1次審査での重点ポイント)

応募に関して、写真（JPEG 等）や概要図（PDF 等）は別途メール等で事務局までお送りください。

応募の際にいただいた資料は返却いたしません。あらかじめご了承ください。

※記述欄が不足する場合は、用紙の追加も可能ですが、応募用紙②全体で A4 用紙 3 ページ以内にまとめてください。

※第1回カーボン・オフセット大賞の1次審査を通過した事例一覧もご参照ください。

URL : [http://www.carbonoffset-network.jp/award1st/entry\\_datalist.html](http://www.carbonoffset-network.jp/award1st/entry_datalist.html)

#### 1. 応募するカーボン・オフセット活動の名称・タイトル

カーボン・オフセット認証を取得済みの活動については、認証番号もあわせて記載下さい。

被災地支援型・地産地消型カーボン・オフセット等のカーボン・オフセット印刷の普及・啓発活動

#### 2. カーボン・オフセット活動の概要

##### <カーボン・オフセットの分類>

以下の4分類からひとつを選び、□に✓をつけてください。

- 商品使用・サービスオフセット
- 会議・イベントオフセット
- 自己活動オフセット
- 自己活動オフセット支援

##### 【参考】

環境省による「カーボン・オフセット第三者認証基準(Ver.1.1)」に基づく分類

[http://www.jcs.go.jp/pdf/document/ki\\_jun.pdf](http://www.jcs.go.jp/pdf/document/ki_jun.pdf)

##### <カーボン・オフセット対象・・バウンダリ>

カーボン・オフセットの取組内容に関して、オフセットの対象範囲をお書きください。

【例】 3①-1に記載した算定範囲と同じ or 算定範囲のうち、〇〇、〇〇の部分に関してカーボン・オフセットの対象とした

通常、原材料調達から製造段階までと定義しています。しかし、お客様の要望に応じて、バウンダリを変更する場合もありました。

様々なケースに対応できる様に、すべての商品についてバウンダリを明記し、全量オフセットでない場合は、おおよその割合まで明記しています。

##### <カーボン・オフセットの取組の実施期間>

カーボン・オフセットの実施期間についてお書きください。その際、2010年1月1日以降にカーボン・オフセットを実施継続していた事例または2010年1月1日以降にカーボン・オフセットを開始した事例であることが応募にあたっての必要要件となりますので、御注意ください。

カーボン・オフセットの取り組みは2010年からはじめました。

その取り組みは弊社の「社会・環境報告書2010」にも掲載（別紙3を参照。）し、その年の業界紙の『印刷新報』にも大々的に取り上げて頂きました。（別紙4を参照。）その他の事例として地方銀行の預

金チラシや、クールビズ、ウォームビズ啓発ポスター、企業様の会社案内や環境報告書、IR/CSR レポート、某国立大学法人様の環境報告書、地元の農業協同組合様のカレンダー他（別紙1を参照。）がございます。

カーボン・オフセットの主体は得意先様にあり、当社としては製造部分の「二酸化炭素の見える化」ならびにカーボン・オフセットのお手伝いをさせていただいております。

もちろん、当社でも環境報告書、IR 報告書などについては自社出版物として自社でカーボン・オフセットしております。この3年間で**のべ47件、オフセット量76t、印刷物として約91.3万部**を印刷しました。

### <カーボン・オフセットの取組に関する情報提供方法>

自社HP等、カーボン・オフセットの取組をウェブに掲載されている場合は、URLを記載願います。

印刷物として1,500部作製 社会・環境報告書2012 P.8-9 ページに特集が組んであります。

[http://www.sunmesse.co.jp/csr/report/abook/2012/SWF\\_Window.html](http://www.sunmesse.co.jp/csr/report/abook/2012/SWF_Window.html)

印刷物として1,000部作製 社会・環境報告書2011 P.20 ページに記載があります。

[http://www.sunmesse.co.jp/csr/report/abook/2011/SWF\\_Window.html](http://www.sunmesse.co.jp/csr/report/abook/2011/SWF_Window.html)

印刷物として1,400部作製 社会・環境報告書2010 P.6-7 ページに特集が組んであります。

[http://www.sunmesse.co.jp/csr/report/ebook/2010/webt/wysiweb\\_win\\_viewer.html](http://www.sunmesse.co.jp/csr/report/ebook/2010/webt/wysiweb_win_viewer.html)

HP以外では、自社オリジナルの被災地支援型カーボン・オフセット、地産地消型カーボン・オフセットのリーフを作りPRを進めると共に、今年も昨年度と同様に「カーボンオフセットEXPO」、「びわ湖環境ビジネスメッセ」、「メッセナゴヤ」など、様々な展示会に出展し、広くPR活動をさせて頂きました。（別紙3を参照。）

## 3. 1次審査項目

### ①自らの行動に伴う温室効果ガスの排出量の認識

カーボン・オフセットの取組内容に際して、排出量の算定についてお書きください。

2010年より、指定案件のみ受注案件ごとに印刷物1点ずつ、LCAを実施。  
**（これまでの実績のべ、47件、76t-CO<sub>2</sub> なお、年々件数は増加しています。）**  
のちに、CFP 試行事業のPCRに添う形に修正し、独自の算出方法を確認。  
最新の機械の稼働データや日報データを応用する形で、日々更新を重ねています。

<排出量の算定に利用したデータ種類>

- LCA 日本フォーラム (JLCA) 「LCA データベース」
- CFP プログラム 「基本データベース」

### ②排出削減努力の実施

取り組まれた排出削減努力について該当とする取組に✓をつけてください（複数可）。なお、取組のアピールも含めた詳細については、応募用紙③「1.002 排出削減努力と関係者の理解や協力」に詳しく記載して下さい。

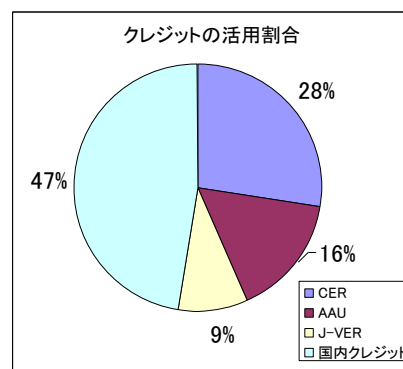
- ✓ 節電    □ 節水    □ 廃棄物の減量化    ✓ 省電力機器の導入    ✓ 公共交通機関の利用・呼びかけ  
□ その他（具体的に \_\_\_\_\_）

### ③オフセットの手続き

#### <カーボン・オフセットに利用したクレジット等の種類>

使用したクレジット等の種類をお書きください。なお、異なるクレジットを併用した場合の各割合(%)についても記載してください。【例】J-VER(0%)、CER等(△%)など

10年度からこれまで、当社が関係したカーボン・オフセットは、のべ47件76t分のオフセットを実施しました。  
内訳はCER:21t(28%)、AAU:12t(16%)、J-VER:7t(9%)、国内クレジット:36t(47%)です。  
得意先様の特別な事情がない限り、全て全量100%のカーボン・オフセットを実施しています。  
なお、下記に示した当社の案件5件以外は得意先様がカーボン・オフセット主体になります。



#### <カーボン・オフセットに利用したクレジット等のプロジェクト名称>

使用したクレジット等の具体的な温室効果ガス削減・吸収プロジェクト名をお書きください。

記載例: ○○地域連携による間伐促進型森林づくり事業、  
○○による木質ペレットボイラーでの温室効果ガス排出削減事業、  
○○国における風力発電プロジェクト CDM プロジェクト番号・・・

<当社がオフセット主体となってカーボン・オフセットしたもの>

製品名	数量	クレジット	数量	プロジェクト名称	識別番号
社会・環境報告書2010	1,400部	CER	1t	インド国タミルナドゥ州の風力発電事業	IN-000-000-077-021-691
社会・環境報告書2011	1,000部	CER	1t	インド国Himachal Pradesh 州 Mandi 地区水力発電事業	IN-000-000-063-219-727
社会・環境報告書2012	1,500部	J-VER	1t	岩手県県有林における森林吸収量取引プロジェクト	JP-200-000-000-032-361
第67期 報告書	1,850部	国内	1t	リネン工場におけるボイラー効率化による排出削減	00383-551
第68期中間報告書	1,850部	国内	1t	リネン工場におけるボイラー効率化による排出削減	00383-625

<得意先様がオフセット主体となってオフセットしたもの>

クレジット名	プロジェクト名	識別番号	
J-VER	釜石地方森林組合による集約化施策(森林整備活動)を用いた温室効果ガス吸収事業	JP-200-000-000-036-40	他
J-VER	岩手県県有林における森林吸収量取引プロジェクト	JP-200-000-000-032-361	他
J-VER	東白川村森林組合の[FSC 認証林]間伐プロジェクト ~つちのこ村で、環境にやさしい里山づくり~	JP-200-000-000-069-303	他
CER	インド国タミルナドゥ州の風力発電事業	IN-000-000-077-021-691	他
CER	インド国Andhra Pradesh 州Kumool 地区水力発電事業	IN-000-000-063-219-681	他
CER	インド国Himachal Pradesh 州 Mandi 地区水力発電事業	IN-000-000-063-219-722	他
AAU	ニュージーランド 植林・森林整備(Greenvale Forest)プロジェクト	NZ-000-000-001-336-992	他
国内	めっき工場におけるボイラー更新	00787-154	他
国内	リネン工場におけるボイラー効率化による排出削減	00383-622	他

当社は、環境配慮の印刷物としてお客様にご提案させていただくひとつのオプション的な位置づけをしています。お客様のご要望にお答えする形で、京都クレジットから、J-VER、国内クレジットまでお客様のニーズに合わせた形でクレジットをご提案させて頂いております。(詳しくは、別紙1を参照。)

#### <カーボン・オフセットに利用したクレジットの無効化に関する状況>

取消、償却実施年月、もしくはその予定についてお書きください。

取消、償却はその都度、カーボンフリーコンサルティング様に代行して頂いております。おおよその目安ですが、翌月末までには実施して頂いております。

## 第2回 カーボン・オフセット大賞 応募用紙③

### 応募するカーボン・オフセットの取組についてアピールポイント (本審査での重点ポイント)

応募に関して、写真（JPEG 等）や概要図（PDF 等）は別途メール等で事務局までお送りください。

応募の際にいただいた資料は返却いたしません。あらかじめご了承ください。

※記述欄が不足する場合は、用紙の追加も可能ですが、応募用紙③全体で A4 用紙 4 ページ以内にまとめてください。

※第1回カーボン・オフセット大賞の1次審査を通過した事例一覧もご参照ください。

URL : [http://www.carbonoffset-network.jp/award1st/entry\\_datalist.html](http://www.carbonoffset-network.jp/award1st/entry_datalist.html)

#### 1. CO2 排出削減努力と関係者の理解や協力

- ①CO2 排出削減努力の項目（内容）について、期待した効果とその成果について具体的かつより定量的にアピールしてください。
- ②CO2 排出削減努力の必要性・重要性について関係者の理解と協力を得るにあたっての工夫とその成果をアピールしてください。

当社では、CSR という言葉が浸透する以前から、水都と呼ばれる岐阜県大垣市の優れた水資源を大切に守り続けていく環境に配慮した活動を進めています。2004 年には**印刷産業環境優良工場表彰の最高賞である経済産業大臣賞を受賞**したほか、NEDO(独立行政法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構)様と共同でオフ輪の**廃熱回収システムの導入により、従来比 CO<sub>2</sub> 68%減、電力量 91%減を実現しました**。また、省エネ部会を設置し、定期的な見直しを行なっています。同様に内部監査や省エネ対策にも力を入れています。

今年は、これまでの取り組みに付け加え、購入先のカーボンフリーコンサルティング様のご協力により、被災地支援と地産地消（地域振興）という付加価値つけた商品として企画・提案することができました。この付加価値は、広くお客様に理解され、今年度途中ではありますが、**昨年実績を大幅に上回る受注を頂いております**。

また、同時に印刷物にこのような取り組みを行なう印刷会社は全国でも希なことから、地方紙を含む、4社の新聞社がいろいろな形で取り上げて下さり、得意先様も当社も期待していた以上の成果を上げることが出来たと思っております。（添付資料3を参照。）

社内取り組みではありますが、年に数回「ノーマイカーDAY」を設定し、通勤に公共交通を使う取り組みを通じ、従業員が一丸となって環境配慮の取り組みを実施しております。

同じく、社内的なことではありますが、今年度より「カーボン・オフセットアドバイザー」という肩書きを頂き、お客様に最適なオフセットとは何かを広報する活動も行なっております。

毎年のカーボン・オフセット案件の推移は、**10年が10件(14t)⇒11年が12件(19t)⇒12年が25件(43t)**と年々多くなっています。また、**今年のレポート・追加受注は14件と全体の半分以上**を占めると言う人気の高さも多くのお客様の方に理解されていると思っております。

#### 2. カーボン・オフセットの内容

- ①自らが行うカーボン・オフセットの取組の意義・重要性について、社会にもたらす波及効果などの観点も踏まえてアピールしてください。
- ②自らが行うカーボン・オフセットの取組の継続性、展開への意欲や見通しについてアピールしてください。

当社は岐阜県大垣市という一地方でありながら、**中部地区初の印刷物で CFP** を取得し、環境報告書も今年度の環境省様のガイドラインに合わせる形で発行させて頂くなど、先進事例をいち早く、地方に持って来るといって、この地でしか出来ないことをこれまで以上に広げて行きたいと思っています。現在は、J-VER、国内クレジットでカーボン・オフセットを実施していますが、来年度にはクレジットの統合が行なわれるので、それに合わせ、カーボン・オフセット認証を取得したいと考えています。波及効果と言う面では、印刷会社の一歩の強みと言える部分であると考えます。

**カーボン・オフセットを実施した印刷物は、91.3 万部**で、これまできっと見る機会が無かったであろう方にもカレンダーやカタログなどを通じてカーボン・オフセットについての理解を深めて頂いたものと考えます。（別紙1、別紙2を参照。）



また、大垣共立銀行様のクールビズポスターは、印刷部数は 400 部と他と比較すると少ないものの、全支店に配布されて掲示されていたので、広報効果はかなり高かったのではないかと考えております。

### 3. 環境、地域・社会、産業振興等の貢献性

次の①～④のいずれか（複数可）の観点での貢献性についてアピールしてください。

- ①自らが行うカーボン・オフセットの取組から波及する河川・湖沼をはじめとする内水面や土壌・大気あるいは生物多様性といった自然環境への配慮や保全などの環境の面での貢献
- ②自らが行うカーボン・オフセットの取組から波及する地域・社会への経済的便益や効果、第 1 次産業と他産業との連携促進、地域活性化や一村一品活動の拡大などの地域・社会の面での貢献
- ③自らが行うカーボン・オフセットの取組から波及する中小企業振興や産業基盤にとって重要な安定的なエネルギー供給・確保、環境と調和した市場の牽引などの産業振興の面での貢献
- ④自らが行うカーボン・オフセットの取組から波及する国際貢献等、さまざまな面での貢献

弊社の取り扱った案件の中で一番多かったクレジットは今年から始めました被災地支援型のカーボン・オフセットです。これはクレジットの種類を限定せず、被災地産のクレジットの購入を勧めたものです。中には森林組合のクレジット（J-VER）も含まれていますし、中小企業支援のクレジット（国内クレジット）もありました。

単純にカーボン・オフセット＝環境貢献から、地域を絞ったカーボン・オフセットにより被災地支援＋地球温暖化防止という大きな 2 本の柱が出来たことで弊社の得意先様の環境貢献ならびに被災地支援の活動に協力できたものと思います。これは、つまり貢献性の②や③に該当する部分だと思えます。

特に、『昭和コンクリート工業様の例』を出しますと、昭和コンクリート工業様は被災地に工場を持っておられ、支援の方法を考えてお見えになりました。そこに今回の被災地支援型カーボン・オフセットを提案し、実施していただきました。その事が新聞記事に掲載され、再度東北版として再発注を頂きました。

『JA にしみの様の例』を出しますと、JA にしみの様は 2011 年のカレンダー作製時に取り組み初期と言うことで、当時知名度が高かった国連の京都クレジットによるカーボン・オフセットを実施して頂きました。次の要望は、もっと形の見える所が良いのではないか？ということでした。そして翌年の 2012 年のカレンダー作製時には、国内の物が希望ということで、先にあげた被災地支援型カーボン・オフセットを勧めました。その後の要望は、もっと身近な所で行ないたいということで、2013 年のカレンダー作製時には、地産地消型カーボン・オフセット（岐阜県産）を実施して頂きました。

カーボン・オフセットシリーズとも言えるこの JA にしみの様のカレンダーは JA にしみの圏内の約 47,000 戸に毎年配布されています。このように印刷物でリピート性の高いものも多く、前回の反応が良かったから続けようとして下さる企業も多く、先にお見えになる特先様のお客様の評判も上々であるとのことでした。（別紙 1、別紙 2 よりリピート件数の多さが分かって頂けると思えます。）

印刷物を通じてのカーボン・オフセットの啓発活動、環境貢献ならびに地域、社会、クレジット購入を通じた産業振興に大きな貢献が出来ていると考えます。

### 4. 普及啓発の創意工夫とその成果

- ①自らが行うカーボン・オフセットの取組について第三者である市民に伝え、理解者の裾野を広げ巻き込み、「自分ごと化する」ために行った創意工夫（イベントの開催やツールの開発等）についてアピールしてください。
- ②人々や社会に与えた影響（行動様式や考え方の変化）について、実際に得られた反響も踏まえてその成果をアピールしてください。

弊社では広報活動戦略において、「誰に（ターゲット）」、「何を（伝えたいこと）」、「どうやって（チャネル）」の 3 点から整理し、下記 3 つの分類を行い、普及啓発に努めております。

A：HP（環境報告書の WEB 公開）

B：紙媒体（弊社作製の広報リーフレット）

C：イベント（各イベントの出席）

A では、事業活動と環境の関係性、カーボン・オフセットを含む各種環境関連の単語の説明や図解を行い、初めて環境問題に関して興味をもった一般の方・事業者の方すべての方を対象として解り易いページ作りを心がけております。

B は、主に事業者の方向けの資料として作成しております。これまでカーボン・オフセットとは無縁だった方にも分かるように簡単にオフセットの仕組みや、これまでの事例を紹介することで身近に感じていただけるような工夫をしました。

C では、カーボン・オフセット EXPO など特化したものから、動員者数が 6 万人を越える大きな展示会まで幅広く出展を行い、弊社事業および、カーボン・オフセットの意義について広報をしました。

各種広報資料の詳細は、別紙 3 に詳しく表記してあります。

イベントの動員数（参考：各イベントの発表値）

	展示会名	動員数
1	リーディング産業展みえ2011	7,800
2	第3回 カーボンオフセットEXPO	200
3	メッセナゴヤ2011	50,000
4	びわ湖環境ビジネスメッセ2011	37,200
5	第6回 カーボンオフセットEXPO	300
6	びわ湖環境ビジネスメッセ2012	35,500
7	メッセナゴヤ2012	61,400
	合計	192,400

## 5. ストーリー性

- ①自らが行うカーボン・オフセットの取組についての「魅力」「面白さ」「ユニークさ」などをアピールしてください。
- ②こうした「魅力」「面白さ」「ユニークさ」について、それを第三者である市民に伝えるために行った創意工夫についてアピールしてください。また、低炭素社会の実現にどのように貢献しているのか、アピールしてください。

印刷会社の面白さと言う点では、得意先様が幅広くみえると言うことです。別紙 1 を見ていただければわかると思うのですが、金融、製造、ガス、大学、農協、イベントなど多種多様にお客様がみえるわけです。印刷は木材を原料とした紙を使うと言う点で環境に負荷をかけている業界というイメージは共通認識だと思います。しかし、印刷をしなければならぬ時、このカーボン・オフセットという地球温暖化防止と、地域貢献（被災地支援）などが合わさることで、環境問題をより身近な問題として捉える事が出来たことが、今年度の受注拡大に繋がったと思っています。

以上に記載された取組について別途説明資料がございましたら、PDF の場合はメールでお送りいただくか、現物資料を郵送ください。

また、公開可能な商品・サービスの様子がわかる写真を（JPEG 等）お送りください。

## 第 2 回 カーボン・オフセット大賞 応募用紙一式 送付先およびお問い合わせ先

カーボン・オフセット推進ネットワーク事務局  
(担当：入山、井上)  
〒東京都港区芝公園 3-1-8 芝公園アネックス 7 階  
電話 03-5776-1223 ファックス 03-5472-0145  
E-Mail award@carbonoffset-network.jp